

蒲生干潟の植物⑪

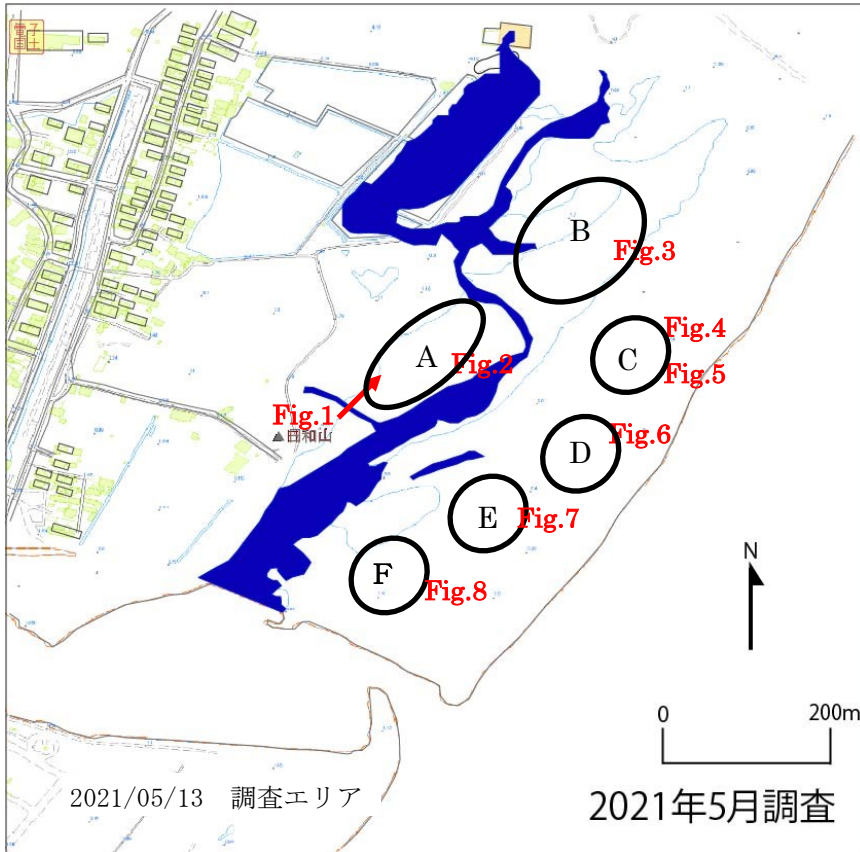


Fig.1 エリアAを南東側から撮影



ハママツナ

Fig.2 エリアAで撮影



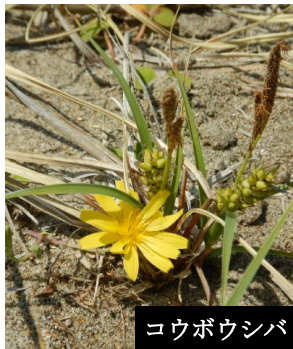
ハマニガナ

Fig.3 エリアBで撮影



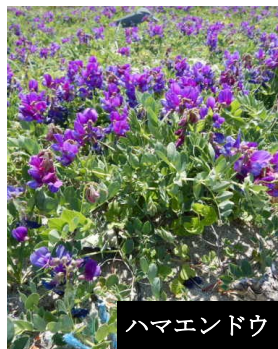
イソヤマテンツキ

Fig.4 エリアCで撮影



コウボウシバ

Fig.5 エリアCで撮影



ハマエンドウ

Fig.6 エリアDで撮影



メマツヨイグサ

Fig.7 エリアEで撮影



オニハマダイコン

Fig.8 エリアFで撮影

調査日時：2021年5月13日（木）9:30～11:00，天気：快晴

エリアAの西側に広がるヨシ原では、根元から新しい個体が伸びてきている。東側では、ハママツナが広く分布しており、1ヶ月前よりも成長しているのがわかる。エリアBでは、北側に広い範囲でヨシ原が広がり、コウボウシバ、コウボウムギ、ハマニガナなど複数の植物が広がっている。エリアC～エリアEにかけて、コウボウムギや花を咲かせたコウボウシバが広がっている中に、イソヤマテンツキやハマニンニク、メマツヨイグサなどが点在している。また、エリアEには、ハマエンドウが3カ所で群生しており、紫の花を咲かせていた。（Fig.4～Fig.7）。エリアFでは、ほとんど植物が生えておらず砂地になっている中にオニハマダイコンが数株だけ点在して生えていた。水に近いエリアでもあるため、流されてきた種子が成長したものとも考えられるが、詳細は不明である。生息範囲が限定的な種がいくつか見られる他、新たな種も見られるようになってきたため、生息範囲の広がり等も含めて調査を進めていきたい。

（宮崎佳彦）